

特集 令和8年度施政方針



心が躍る、桜の季節

2026
5

まちのスケジュール

■教育 + 健康・保健 ★文化・体育 ◆その他

1 金	
2 土	
3 日	憲法記念日
4 月	みどりの日
5 火	こどもの日
6 水	振替休日
7 木	
8 金	★賀田城新緑ウォーキング
9 土	★地元の山ハイキング(衣掛山)
10 日	◆ぼたんまつり(赤名観光ぼたん園周辺)
11 月	■図書館歴史講座(来島交流センター)
12 火	
13 水	+ オレンジカフェ(交流センターとんぼら)
14 木	■小学校陸上大会 + 乳幼児健診(保健福祉センター)
15 金	
16 土	■頓原中授業公開日・PTA総会
17 日	◆英語でおはなし会(中央図書館) ◆森林セラピー新緑コース
18 月	
19 火	+ オレンジカフェ(赤名福島邸)
20 水	
21 木	
22 金	◆はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制
23 土	
24 日	
25 月	
26 火	
27 水	■小学校修学旅行(~28日) + 子育て世代食講座(来島保健センター)
28 木	
29 金	+ オレンジカフェ(つがが工房)
30 土	+ オレンジカフェ(上赤名会館)
31 日	◆第19回泥落とし神楽共演大会

〈毎週火・水・金曜日〉 + ほっと。Café(来島保健センター)

町の人口 4,179人(前月比-28人) 世帯数1,936戸 R8.4.1 現在



商品カタログ制作も仕事の一つ。写真撮影に立ち会い、商品の魅力を伝えます。長年商品開発に携わっている森下さんですが、今後は別の部署も経験したいそう。「新しいことに挑戦し、知識を増やしたい」と意気込みます。

高校時代、服飾専門学校でのファッションショーを見たのがきっかけで、服飾に関心を持ったという森下さん。「これまで出会ったことのないキラキラした世界。自分で服を作れたら素敵だと思い、服飾の道に進みました」と話します。

「ルーツいいなん 57」
このまちに住んでいると、なかならうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよどこまでも。

新たな価値を生み出す楽しさ



もりた あゆみ (旧姓:奥野)

野営出身。飯南高卒業。倉敷市立短期大学服飾美術学科・専攻科でアパレル企画・開発等・被服製作等を学ぶ。ユニフォームメーカー「株式会社トンボ」に入社し、商品開発を担当。

短大に入学すると、周りは高校から服飾を学んできた学生ばかり。知識も技術も一歩進んでおり、自分には服飾は向いていないのではと挫折感を味わったこともあったそう。「落ち込んだこともありましたが、モノを作るのが純粹に楽しかった」と当時は振り返ります。

短大卒業後は、学生服や介護服などのユニフォームメーカー「株式会社トンボ」に入社。新たな機能やデザインを考案する商品開発部に所属しています。全国で年間3000〜5000校の学校が制服を変更。自社でも毎年新商品を開発・販売するといいます。「自分がデザインした制服が学校に採用されたり、考案したジエnderレス制服の企画が全国に広がっていったりと、とてもやりがいのある仕事」と森下さんは話します。



桜が満開になり、良く晴れた春休み最終日。新学期から中学生になる仲間が集まり、とりとめもないおしゃべりを楽しんでいました。「部活は何する?」「自転車通学になるね」と情報交換。新たに始まる中学校生活に、期待や喜びと少しの不安を胸に、仲間との楽しいひと時を過ごしました。



飯南町公式SNS

スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか
マチャイロ